



砂川市長  
飯澤 明彦

新年あけましておめでとございます。

市民の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

昨年4月の市長就任以来、全力でまちづくりに取り組んでまいりましたが、私たちが取り巻く環境は、原油価格をはじめ物価の高騰などにより依然として厳しい状況が続いています。今後とも皆様とともに知恵を出し合い、この難局を乗り越えていきたいと考えております。

これまで、消費喚起により市内経済の活性化につながるため、プレミアム商品券発行事業、商店会連合会商品券発行事業や中小企業に対する支援を実施してまいりました。今後も原油価格・物価高騰への対策として、住民税非課税世帯への特別給付金、

社会福祉施設などへの支援を実施してまいります。

また、18歳までの医療費の無料化、給食費の無償化、学校や保育所と保護者で素早く情報共有・連携ができるシステムを導入して利便性を図るなど、「子育てするなら砂川」と思っていただけのようなまちづくりに取り組んでおり、さらに義務教育学校の建設に向けて協議を進め、児童生徒や教職員が活動しやすく交流や連携を図ることができる施設を目指し、多様な学習活動の環境整備に努めているところです。

駅前地区では、まちなかの魅力を高める新たな拠点施設の実施設計が完成し、いよいよ建設工事に着手いたしますが、イベントや物販をはじめとする各種事業の実施について、運営協議会を立ち上げ協議を進めているところです。

北海道電力砂川発電所廃止後の跡地活用や地域公共交通の確保・維持など、市民の皆様が安心して生活できるよう解決しなければならぬ課題はありますが、誰もがいつまでも健康で住み続けることのできるまちづくりを目指し施策を進めてまいります。

市民の皆様がご健勝で幸多き年となるよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

あ い さ つ





砂川市議会議長  
多比良 和伸

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えになられたことと議員一同心からお喜び申し上げます。また、日頃より議会活動に対するご厚情とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症指定移行に伴い、経済活動の正常化も徐々に進み、市民活動も活発になりつつあります。一方で、昨年から続く世界経済の不安定によりもたらされた原油、原材料不足による物価の高騰や円安に加え、人手不足による影響などにより社会経済の先行きが不透明となり、市民生活に大きな影響を及ぼしております。一日も早く、平穏で安心して暮らせる安定した経済となるよう願っております。

市議会におきましては、持続的な議会改

革を進め、人口減少と少子高齢化の進行による新たな地域課題や市民ニーズに対応するため、地域の特色や地域資源を生かし、持続可能なまちづくりを進めるとともに、生活に対する安心感や笑顔が絶えないまちになることを目指し、第7期総合計画の目指す都市像「自然に笑顔があふれ 明るい未来をひらくまち」の実現に向け、市民とともに取り組んでまいります。

私ども議員一同は、昨年の統一地方選挙において議席を与えていただき、新たな議会活動をスタートさせ、以降、市長とともに二元代表制の一翼を担い、行政の諸課題解決に向けて積極的に取り組むとともに議員一人ひとりが市民の皆様の多様なニーズをしっかりとくみ上げて市政運営に反映させ、皆様に期待される議会となるよう奮励してまいりますので、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、今年が明るく希望の持てる年となりますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

# 新年のご